

2月12日(火)

飼い主を知っている羊

聖書朗読 ヨハネ 10:11~21

わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。 ヨハネ 10:14

父方の祖父は牧羊業を営んでいました。ヨハネの福音書10章の良い牧者のように、祖父は彼の羊たちを知っていました。都会育ちの私が最もおどろいたのが、羊たちもまた祖父のことをよく知っていたことでした。

ある日、祖父の住んでいる町の近くを通ることがあったので、祖父のもとを訪ねました。トラックの事故で大けがを負った祖父は数か月もの間家からでられないでいました。その日、私は祖父を自分の車に乗せて、彼の愛してやまない牧場へ連れて行きました。

牧場に着くと、そのまま丘を越え、牧草地の近くに車を止めました。祖父は車からまだ傷の残るからだゆっくりとだし、ドアに寄りかかりながら立ち、羊を呼ぶための独特の声をあげました。羊たちはその声を6か月もの間聞いていなかったにもかかわらず、羊たちは自分たちに餌を与え、体をケアし、そして守ってきた男を忘れてはいませんでした。生い茂った木の向こうから、数十頭もの毛の塊が現れ、そして彼らの飼い主を目指して突進してきました。そして、私たちはあっという間に羊たちに囲われました。

この日私は、イエス様が私たちとの関係をまさに目の前で見たようでした。イエス様は私たちを知っています。私たち一人ひとりを。そしてイエス様は、ご自身の命を捧げるほど私たちを愛して下さっておられます。だから私たちは生きていけるのです。

讃美歌 第二編 56

祈り 親愛なる主、あなた様は私たち一人ひとりを知っておられます。私たちよりも私たちのことを知っておられます。自分の飼い主を知り、そして私たちもまた飼い主を愛する羊になれるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジーン・シェルバーン
テキサス州 アマリロ

2月13日(水)

誤った愛

聖書朗読 ヨハネ 12:37~43

神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。 Iヨハネ 4:9

私たちは時に、誤ったものを愛してしまいます。それらの愛は私たちが夢中にさせます。自分勝手な欲望のために周りの人々を振り回します。時間や、お金や、労力を無駄に奪います。この誤った愛に向けたエネルギーを神を愛することに使ってみてはどうでしょうか。かつて体を動かすことに取りつかれていた私は、激しい練習を繰り返すということをしていました。

悲しいことに、多くの議員たちは、イエス様を信じていました。しかし、イエス様を認めることを拒んだのでした。この「信じる者たち」は「神に取り入ろう」とするのではなく、「人に取り入ろう」としたのです。恐れがあったのかもしれませんが。しかし彼らをそうさせたのは、誤った愛からです。会堂では、神に取り入るための愛をはぐくむことを手助けるべきでしたが、残念なことに、会堂では「人に取り入るため」の愛を教えたのです。

私たちは似たようなジレンマに直面しています。私たちは何を愛していますか？「神に取り入る」ために友達や同僚や親せきを拒絶することをいとわない、と思うまでにあなたの信仰は達していますか？ 近しい人たちに拒絶されるかもしれません。しかし、私たちはそのリスクを冒してまでも神に取り入る努力をしましょう。私たちへの神の愛は本当に深いものです。ですから私たちは私たちの心からの愛を、最大の努力を神に捧げようではありませんか。

讃美歌 第二編 65

祈り 聖なる神。あなたさまがどれほど私たちを愛して下さっているか、心から理解することができるようお助けください。そして、あなた様を愛すること、それが私のすべてになりますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ミッシェル・オニール
フロリダ州 タイタスビル

2月14日(木)

本物の友情

聖書朗読 ヨハネ 15:9~17

わたしはあなたがたを友と呼びました。

ヨハネ 15:15

イエス様は信頼できる友でしょうか？ それとも結果を求めるだけの独裁者なの
でしょうか？ 真の友とは、信頼でき、誠実で、親身になってくれ、客観的で、支え
になってくれる人のことです。独裁者はこれのどれでもありません。独裁者は優位に
立ち上がり、そしてコントロールしたがりです。イエス様は私たちをしもべではなく、
友と呼びました。友とは、持っている一番の良いものを負けあうことができる仲間の
ことです。イエス様はお父様を私たちと分け合いました。

どのようにしたら私たちはイエス様と友達になれるのでしょうか？ イエス様は私
たちにイエス様の愛の中にとどまるようおっしゃられています。イエス様は、私たち
にとって何がベストなのかをご存じです。そのイエス様が、私たちがイエス様との約
束を守ることを望んでおられます。友のために命を捨てるほどに深く愛することを望
んでおられます。イエス様はイエス様が私たちに献身的に愛して下さったように私
たちも愛することを望んでおられます。

喜びや悲しみを分かち合うような友達がいないと言っている人々に多く会ってき
ました。彼らは受け入れて、認められて、理解されることを望んでいます。しかし、
喜んで与えることはしていません。真の友達を得るには、あなたが真の友達にならな
ければなりません。つまり、永遠の親友を探すのではなく、あなたが永遠の親友にな
る努力をしましょう。そうすれば、あなたの人との結びつきが素晴らしいものとなっ
ていることに驚くことでしょう。

讃美歌 第二編 67

祈り 親愛なる主。身勝手な友人像を捨てて、行いを通してあなた様が望む友に
なれますようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

エリン。E・マッケンドリー
テキサス州 ミルサップ

2月15日(金)

神を知る

聖書朗読 ヨハネ 17:1~5

その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされ
たイエス・キリストを知ることです。 ヨハネ 17:3

図書館で借りた退屈つまらなかった本の著者とその後恋に落ち、彼の妻となっ
た女性の話聞いたことがあります。結婚後、彼女は彼の本を再び読み始めました。
そして驚くことに、その本は彼女がそれまで読んだ本の中で最高の本であることを知
りました。これまでにその本に対する彼女の気持ちを変えたのは何だったのでしょうか？
それは彼女が著者を知っているということです。

聖書は退屈で、礼拝がつまらなくなると言っているクリスチャンも言います。
これは問題です。彼らは神を知りません。預言者エレミアは、神の人々は神を知らな
かったので、エルサレムは滅びると予言しました。人生で最も大切なことは、神を知
ることです。大学に行くことや、理想の体型を維持することや、お金を稼ぐことでは
ありません。この世の多くの人々は信仰を持っていますが、神を知ってはいません。
神を知るとは、神の声を知り、神を信じているということです。

イエス様は言いました。『わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っ
ています。また、わたしのものは、わたしを知っています。』(ヨハネ 10:14)

神を知るとは、神を心の底から愛しているということです。心から神を知る努
力をする、心に決めてください。もしあなたが神をすでに知っているのなら、もっ
と知るようになります。

讃美歌 338

祈り 在天のお父様。私の人生の一番の目標は神を知ることです。あなた様が私のカウンセラーであり、隠れ家であり、強さであられますよ
うに。心からあなたを信頼し、愛することができますようお助けください。

イエス様の御名によってアーメン。

ケン・スコット
テネシー州 ナッシュビル

2月16日(土)

彼は私のために祈りました

聖書朗読 ヨハネ 17:20~26

わたしは彼らにおり、あなたはわたしにおられます。それは、彼らが全うされて一つとなるためです。それは、あなたがわたしを遣わされたことと、あなたがわたしを愛されたように彼らをも愛されたこととを、この世が知るためです。

ヨハネ 17:23

オクラホマシティ連邦政府ビル爆撃事件の後、私は8年間、遺族支援センターの指揮を執っていました。その後、私はその施設を地元の教会に委ね、他の人々を手助けする似たようなセンターを造ろうとしました。いくつかの州の教会を訪れ教会指導者たちに対してプレゼンテーションを行いました。

ある日のプレゼンテーションの終わりに、私の話を注意深く聞いていた牧師が、いまだに忘れられないあることを私にしてくれました。その牧師は握手して私に幸運をと言う代わりに、私に座ったままのように言いました。そして彼は立ち上がりて手を私の肩に手を置いて、私のために、そして遺族支援の働きが広まるよう神に祝福を求めてくださいました。私は深く感動し、泣いてしまいました。私は誰かのために祈ること慣れていましたが、誰かが自分のために祈ってくれるという状況には慣れていませんでした。

イエス様はヨハネの福音書17章で、私のために、あなたのために祈ってくださいました。私たちは『わたしを信じる人々』(20節)です。お父様、御子、聖霊にならって、私たちが一つになるよう祈られました(21節)。私たちが全うされて一つとなり、イエス様のことをこの世が知るようになるよう祈っておられます(23節)。

イエス様は私たちがお互いを助け合うよう祈られました。そして私たちのうちにあるイエス様の御力によって、私たちにそれはできるのです!

讃美歌 第二編 80

祈り お父様。あなた様が私たちを愛してくださったように愛する力をお与えください。そすすればイエス様のからだである一人ひとりが、自分はあるものであることを知ることができます。主よ、私たちのために祈ってください感謝いたします!

イエス様の御名によって。アーメン。

ダニー・マイズ
テキサス州 アマリロ

2月17日(日)

コントロールできているなんて錯覚

聖書朗読 ヨハネ 19:10~16

あなたがたは、しばらくの間現れて、それから消えてしまう霧にすぎません。

ヤコブ 4:14

物事がうまくいかなかったとき、あなたはどう思いますか?スイッチを入れたのに電気が付かなかったとき。カギを回したのに車のエンジンがかからなかったとき。パスワードを入れたら、間違えているとエラーメッセージが出たとき。

私みたいな人は、いったいどうしたらいいの? とほんの一瞬不安になるかもしれませんが。もしくは、「勘弁してよ、時間がないんだから」とイライラするかもしれません。

便利なものであふれているこの世では、私たちはコントロールすることに慣れていきます。私たちは、明るいとき、暗いとき、それをコントロールする力を持っています。歩くよりも、走るよりもっと早く移動する力を持っています。私たちは力を持っています。もしくは少なくとも、そう思っています。物事がうまくいかなかったときに、私たちはすべてをコントロールすることはできないと、少しだけ(時に嫌というほど)思い知るのです。

ピラトは自分に権威があると思っていました。ユダヤ人たちのリーダーはピラトからイエス様を殺す許可が欲しかったのです。しかし、ピラトはイエス様が無実であり、イエス様を開放したいと思っていました。ピラトはイエス様に聞きました。しかしイエス様はお応えになりませんでした。イエス様は無言でした。そこでピラトはイエス様に言いました。『私にはあなたを釈放する権威があり、また十字架につける権威があることを、知らないのですか。』するとイエス様は答えられた。「もしそれが上から与えられているのでなかったら、あなたにはわたしに対して何の権威もありません。』これは私たちすべてに対して真実です。

上から与えられている権威のみを私たちは恐れます。それ以外はとこしえの光のなかにあっては消えてしまう霧にすぎません(ヤコブ 4:14)。

讃美歌 第二編 161

祈り お父様。あなた様は神であり、私たちは神ではないことを知っています。全てはあなた様の御手の中にあることを信じるができるようお助けください。

カール・コープ
テキサス州 ラボック